

歯科保存学講座歯周療法学分野

I. 研究者の内訳 (平成27年5月1日現在)

1. 職員

教授 八重柏 隆
講師 佐々木 大輔
助教 村井 治
大川 義人
伊東 俊太郎
須和部 京介
滝沢 尚希

教授	特任教授	准教授	特任准教授	講師	特任講師	助教
1名	0名	0名	0名	1名	0名	5名

2. 研究員等

研究員	研究生	研修生
5名	0名	11名

3. 大学院生

第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
0名	1名	2名	0名

II. 講座等における主たる研究テーマとその成果

1 歯周疾患の再発と長期的予後に関する研究

歯周疾患の再発に関連する因子について、症例分析、コホート研究を実施している。歯周治療の予後の客観的評価と普遍的なガイドラインの設定を目指している。

2 歯周組織再生材料の臨床応用に関する研究

エナメルマトリックスデリバティブ (EMD) 等の歯周治療への応用に関する実験的研究を行い、その有用性や適応症に関する検索を実施している。

3 歯周病原性細菌の分子生物学的解析に関する研究

歯周病原細菌が2型糖尿病への発症・増悪に関わっている可能性を、細菌由来プロテアーゼの観点から検討している。また、歯周病原細菌の組織内侵入機構を明らかにする目的で、歯周病原細菌の上皮バリア突破能、突破機構およびその特異性について検討している。

4 間葉系幹細胞 (MSC) と血球系細胞および歯周組織構成細胞との相互作用に関する研究

MSCは多分化能を有する体性幹細胞で、組織の修復や再生

に働くことが報告されている。MSCと血球系細胞および歯周組織構成細胞との共培養系を確立し、それぞれの相互作用について免疫染色、RT-PCR法、Real-time PCR法、各種キット等を用いて調査を行っている。

5 全身疾患と歯周病との関連に関する研究

掌蹠膿疱症、Weber-Christian病、脳膿瘍に対する歯周治療と歯周組織状態の変化について評価、検討している。歯周病のリスクファクターの一つとされている全身疾患において、本邦の基盤となる疫学調査を行っている。

6 歯周治療の評価に関する研究

垂直性骨欠損に対する種々の歯周外科治療法などに関する臨床評価を実施し、歯周治療のフィードバックを行い、診断と治療技術の向上を目指している。

III. 研究成果の発表状況 (平成27年4月～平成28年3月まで)

①-1 学術論文 [英文]

a) 原著

1) *Sawada, S., Chosa, N., Takizawa, N., Yokota, J., Igarashi, Y., *Tomoda, K., Kondo, H., Yaegashi, T., Ishisaki, A.: Establishment of mesenchymal stem cell lines derived from the bone marrow of green fluorescent protein-transgenic mice exhibiting a diversity in intracellular transforming growth factor- β and bone morphogenetic protein signaling. Mol. Med. Rep. 13(3): 2023-31 (2016)

② 著書

1) 八重柏隆:患者さんに語る シンプル歯周治療(吉江弘正, 和泉雄一:編著). 医歯薬出版. 84-88 (2016)
2) 八重柏隆:薬 '17/'18 歯科 疾患名から治療薬と処方例がすぐわかる本(朝波惣一郎, 王 宝禮, 矢郷 香:編). クインテッセンス出版. 198-199 (2016)

④-1 国内学会発表 (全国)

b) 一般講演

1) 滝沢尚希, 鈴木啓太, 中里茉那美, 高橋晋平, 大川義人, 佐々木大輔, 村井 治, 八重柏隆:間葉系幹細胞と抗炎症性マクロファージとを併用した新たな歯周病治療樹立のための分子基盤の構築. 第58回春季日本歯周病学会学術大会. 2015年6月. 幕張.
2) 浅野明子, 田邊憲昌, 小林琢也, 佐々木大輔, 水川卓磨, 高橋徳明, 熊谷美保, 大川義人, 玉田泰嗣, 山田裕之, 澤田愛, 高藤恭子, 伊東俊太郎, 斉藤裕美子, 金村清孝, 野田 守,

佐藤和朗, 三浦廣行: 診療参加型実習外来での 3 年間の患者動向. 第 34 回日本歯科医学教育学会. 2015 年 7 月. 鹿児島.

3) 中里茉那美, 下山 佑, *根本優子, *根本孝幸, 高橋晋平, 石河太知, 佐々木実, 八重柏隆, 木村重信: *Tannerella forsythia* のジペプチジルペプチダーゼ 4 の性状解析. 第 57 回歯科基礎医学会学術大会. 2015 年 9 月. 新潟.

4) 村井 治, 相羽健太郎, 滝沢尚希, 須和部京介, 大川義人, 伊東俊太郎, 摂待友宏, 佐々木大輔, 八重柏隆: 歯周炎を伴う脳膿瘍の一症例. 第 58 回秋季日本歯周病学会. 2015 年 9 月. 浜松.

5) 鈴木啓太, 滝沢尚希, 帖佐直幸, 客本齊子, 加茂政春, 八重柏隆, 石崎 明: 歯根膜線維芽細胞との細胞間相互作用は間葉系幹細胞の抗炎症作用を増強する. BMB2015 (第 38 回日本分子生物学会年会, 第 88 回日本生化学会大会 合同大会). 2015 年 12 月. 兵庫.

④-2 国内学会発表 (地方会関係)

a) 招聘講演等

1) 村井 治: 歯周病と皮膚疾患の関連について. 圭陵会岩手支部学術研修会. 2015 年 10 月. 盛岡.

b) 一般講演

1) 高橋晋平, 石河太知, 下山 佑, 八重柏隆, 佐々木実, 木村重信: 歯周病原性細菌の上皮バリア突破機構. 第 69 回日本細菌学会東北支部総会. 2015 年 8 月. 福島.

2) 村井 治: 歯周病と皮膚疾患の関連について. 圭陵会岩手支部学術研修会. 2015 年 10 月. 盛岡.

c) その他

1) 滝沢尚希: 膜タンパク Caveolin-1 による歯周炎症悪化メカニズムの細胞生物学的解明. 岩手医科大学歯学会研究助成金に対する研究報告会. 2015 年 7 月. 盛岡.

2) 村井 治, 八重柏隆: 東日本大震災後のストレスマーカーの変動について. 文部科学省 特別経費 (2013 年度-2015 年度) 生体機能の理解にもとづく災害ストレス支援の推進事業最終報告会. 2016 年 3 月. 盛岡.